

科目名称：	総合教養演習 I	
担当者名：	能 雄司	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>若者の間にスマホとlineが花盛りである。どちらも便利で結構なことではあるが、一方では、基本的な漢字を正しく書けない者や、生活の知恵としての諺や慣用句及び四字熟語を知らない者、また九九や通分、四則演算等の極めて基礎的な数学をも理解していない者も少なからず見受けられる。学外の企業や市役所等でインターンシップに取り組まなければならないビジネス実務学科の学生にとっては、特にこれらの基本的教養が必要であり、早くから対策に取り組む必要がある。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>入学してから1年足らずで、学外の企業でインターンシップに取り組まなければならないビジネス実務学科の学生にとって、研修先での反省文の作成やレポートの提出などの要求に的確に応えるための読む・書く・計算力のような基礎的教養を身につけさせる。さらに、公務員（県職員や市役所・警察官等）を目指す者にとっては、基礎能力試験として1次試験で実施される「一般知能」及び「一般知識」が必須の試験科目である。基礎的教養の多岐にわたる分野を、演習と解説を織り交ぜて確実に理解させることを主眼とする。</p>		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)	60	25	10	5	100
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
毎回の授業課題(宿題)の取り組み	毎回総てをやってきた	1~2回抜けた	3回~5回抜けた	6回以上抜けた
毎回の授業への取り組み	毎回真剣に取り組み、説明をよく聞き、素早く理解する。	真剣な取り組み姿勢を感ずる場面があり、努力してついてきてい	特別な積極性は見られないが真面目に取り組んでいる。	時々睡魔に襲われるなどやや集中力に欠ける場面がある。
資料等配布物の整理・記入	要点を配布資料に色分けして記入し配布物はファイル化してある。	配布された資料に要点をメモ書きしてファイル化されている。	配布物はファイル化されてはいないが、ほぼ保管されている。	配布資料は一応保管されているが容易に取り出せない状態である。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 「総合教養演習Ⅰ」体系の理解,小テスト第1回(四字熟語1)⇒現在の学生の進路希望などをクリッカーで調査する	事前に配布してある一般常識資料「四字熟語」をしっかりと練習しておく	60分
第2回 「み・は・じ」の基本問題解説と演習(作成プリント)(小テスト第2回-四字熟語1)	事前に配布してある一般常識資料「四字熟語・故事成語」をしっかりと練習しておく	60分
第3回 判断推理「対応関係・リーグ戦」,小テスト第3回(地理)⇒ディスカッションして問題を解きクリッカーで答える	一般常識資料「日本地理・世界地理」と本時の「家庭課題」を練習しておく。	60分
第4回 判断推理「暗号問題」,小テスト第4回(難読・難解漢字)⇒ディスカッションして問題を解きクリッカーで答える	一般常識資料「難読・難解漢字」と本時の「家庭課題」を練習しておく。	60分
第5回 魔方陣問題の解説と演習,小テスト第5回(諺・慣用句1)⇒演習問題をディスカッションして解きクリッカーで答える	一般常識資料「ことわざ・慣用句1」と本時の「家庭課題」を練習しておく。	60分
第6回 命題・三段論法の解説と演習,小テスト第6回(諺・慣用句2)。演習問題を学生同士相談して解く。	一般常識資料「ことわざ・慣用句2」と本時の「家庭課題」を練習しておく。	60分
第7回 n進法の解説と演習,小テスト第7回(文学・芸術・作曲家)⇒ディスカッションして問題を解きクリッカーで答える	一般常識資料「文学・芸術・作曲家」と本時の「家庭課題」を練習しておく。	60分
第8回 判断推理「順序関係」,小テスト第8回(英語基本構文)⇒ディスカッションして問題を解きクリッカーで答える	一般常識資料「英語の基本構文」と本時の「家庭課題」を練習しておく。	60分
第9回 判断推理「位置・円卓」,小テスト第9回(読み誤り易い漢字)⇒ディスカッションして問題を解きクリッカーで答える	一般常識資料「読み誤り易い漢字」と本時の「家庭課題」を練習しておく。	60分
第10回 判断推理「うそつき問題」,小テスト第10回(理科常識)⇒ディスカッションして問題を解きクリッカーで答える	一般常識資料「理科常識」と本時の「家庭課題」を練習しておく。	60分
第11回 道順問題の解説と演習,小テスト第11回(反対語)⇒ディスカッションして問題を解きクリッカーで答える	一般常識資料「反対語」と本時の「家庭課題」を練習しておく。	60分
第12回 ブラックボックスの解説と演習,小テスト第12回(政治・法律)⇒ディスカッションして問題を解きクリッカーで答える	一般常識資料「政治・法律常識」と本時の「家庭課題」を練習しておく。	60分
第13回 判断推理「親戚関係・トナリ」,小テスト第13回(同音異義語)⇒ディスカッションして問題を解きクリッカーで答える	一般常識資料「同音・同訓異義語」と本時の「家庭課題」を練習しておく。	60分
第14回 文章理解「主旨・空欄穴埋め」,小テスト第14回(歴史)⇒ディスカッションして問題を解きクリッカーで答える	一般常識資料「日本史・世界史」と本時の「家庭課題」を練習しておく。	60分
第15回 文章理解「見出し・文章整序」,小テスト第15回(漢字書取)⇒ディスカッションして問題を解きクリッカーで答える	一般常識資料「漢字書き取り・読み」と本時の「家庭課題」を練習しておく。	60分
事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、事前配付資料をしっかりと練習し記入しておく。更に、当日授業後の復習家庭課題に取り組む。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、60%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。 授業時間内に行なう小テスト25%、家庭学習用課題5%・課題提出状況5%、 授業に対する取り組み方(貢献・積極的関与、発表)5%で評価する。		
課題に対するフィードバック		
授業内で実施した小テスト等プリントは、評価した後に返却する。 家庭学習としての問題演習は独力で解いて、次時に行う解答・解説時に確認してもらい提出を求める。		
教科書・参考書		
2019年度版 絶対決める! 数的推理・判断推理 公務員試験合格問題集 成美堂出新星出版社 発行 教科書の該当ページを開きながら解説を行う。 その他、授業時間内に演習問題や小テストのための参考資料を配布して解説する。		